

# 歯科口腔外科

## (スタッフ)

歯科医師 : 小野 敬一郎 (2021. 4月から)  
 : 近藤 理恵 (2021. 3月まで)  
 歯科衛生士: 渡邊 弘美  
 : 藏本 典子

歯科医師は大分大学医学部附属病院歯科口腔外科から交代派遣され、歯科医師1名が嘱託医として勤務しています。

歯科衛生士は渡邊と藏本との2名が勤務しています。

## (診療実績)

外来診療は、月～金の週5日体制で行いました。

2021年1月から12月の外来延患者数は2,219人で、新患外来患者数は771人でした。新患外来患者の疾患別内訳は表1に示しています。入院延患者数は14(人×日)でした。

当院のがん等に係わる全身麻酔による手術又は放射線治療若しくは化学療法を実施する患者に対し新規で専門的口腔管理を施行した患者数は153人で、紹介科別内訳は表2に示しています。

## (今後の方向性)

- (1)新型コロナウイルス感染症の影響により前年度と比較しますと新患外来患者数、入院患者数ともに減少しています。今後も、基礎疾患があり出血傾向や易感染状態にある患者の抜歯や埋伏歯、嚢胞、口腔粘膜疾患、良性腫瘍などの口腔外科疾患の治療に対して、地域歯科医院からの受け入れを強化していきたいと考えています。
- (2)当院は地域がん診療連携拠点病院(高度型)として多くのがん患者が治療を受けます。悪性腫瘍に対する手術、放射線治療、化学療法、骨髄移植を受ける患者の他、心臓血管外科手術や、脳卒中に対する手術、人工関節置換術を受ける患者の口腔管理を行っています。前年度と比較しますと増加しており、今後も各診療科との連携を強化し治療が円滑に進むよう口腔機能の維持、口腔環境の改善への介入を継続します。
- (3)令和4年度は医局からの派遣歯科医師の確保が難しく、週3日体制となり、ご迷惑をおかけすると思いますが、ご協力のほどよろしくよろしくお願い申し上げます。

- (4)歯科医師は学会・講習会に参加することで、口腔外科における知識・スキルの向上に努めます。また、歯科衛生士も学会、地域ケア会議等へ参加し、全身疾患を持つ患者の口腔環境の改善のため、知識の向上に努めていきます。

(文責: 小野敬一郎)

表1 新患外来患者の疾患別内訳 (単位: 人)

	2020年	2021年
有病者の歯科疾患	434	383
粘膜疾患	103	76
埋伏歯	77	87
良性腫瘍	26	21
顎関節疾患	31	26
外傷	21	27
炎症	12	40
嚢胞	23	18
神経性疾患	6	3
唾液腺疾患	1	23
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	12	11
口腔癌	2	4
唇顎口蓋裂	8	2
先天異常・発育異常	3	5
その他	17	45
計	776	771

表2 周術期口腔機能管理の診療科別内訳 (単位: 人)

依頼科	2020年	2021年
血液内科	40	26
循環器+心臓外科	41	34
耳鼻咽喉科	29	51
呼吸器腫瘍内科	11	9
呼吸器内科	7	5
乳腺外科	5	6
消化器外科	5	6
婦人科	2	4
消化器内科	1	3
泌尿器科	7	0
呼吸器外科	3	9
計	151	153